

1. 幼稚園の目標	2. 本年度の重点目標
カトリックの愛と祈りの精神に基づき 神様を愛し人を愛することができる子 に育てる	・心を育てる ・宗教による情操教育 ・縦割り保育 ・小学校連携の充実のカリキュラム ・挨拶・礼儀・よい生活習慣の形成 ・環境衛生 ・挨拶・礼儀・よい生活習慣の形成 ・モンテッソーリ教育・地域との交流

3. 目標・評価					外部関係者から	
①こころを育てる (心の優しい子・ありがとうが言える子・注意集中する力があり落ち着きと忍耐力がある子)						
領域	評価項目	評価の観点	具体的な方策	達成度	成果と課題	意見や提言など
教育活動	生きる力の育成	自分で考えて判断 できているか	正しい目標を定めそれに向か って努力する心の強さを担う	4	ひとりひとりの発達に合わせて言葉かけをし、援助したり見守ったりして自分でやろうとする気持ちを大切にしていける。自分でできる、自分の力でできる環境の中で達成感を味わいながら自立心が芽生えているように思う。努力をした後の成果が見えた時、子どもと一緒に共感した。特定の子どもではあるが、子ども自身が自分で考えることがあまりできていなかったように思われる子どももいたので見守り続けていきたい。	年長・年中・年少ともに聞く・考える・発言するができています。集団生活が苦手な子に対して優しく対応したり、挨拶等にこやかな態度で気落ちよくできる。モンテッソーリ教育や縦割り保育により、子どもたちは日々、達成する喜び、努力する大切さを知るなど貴重な経験を通じてのびのびと成長していると思う。これからも神様の荷姿となれるよう、正しい言葉づかい、正しい行いを意識しながら寛容な心の育成を図ってみたい。
	思いやりの心の 育ち	相互のつながり をふやす	縦割り保育で家庭的な 雰囲気をつくる	3.8	縦割り保育ならではの助け合い思いやりの心を見ることができ子供たちの成長を感じた。泣いたり困っている子どもたちにそっと寄り添い優しく声をかけ助ける姿が見られ思いやりの心が育っていると思う。上の子にしてもらったことを大きくしたら次は自分がしてあげるといふよい伝統となって受け継がれていると思われる。	

②宗教による情操教育 (神様にお祈り出来る子・明るくいそいそした子・じっくり判断し行動できる子)					意見や提言など	
領域	評価項目	評価の観点	具体的な方策	達成度	成果と課題	意見や提言など
教育活動	神様に愛されていることを知る	すべてのものに感謝する心を学ぶ	自己肯定感と善悪の判断をつけ正しいことを実行できる良心を形成する	3.6	毎日のお祈りや宗教教育を通して、神様がいつもそばにいて見守って下さることを子どもたちに伝えていった。毎日のお祈りが形式的にならないようにしたい。宗教教育以外でも機会をたぐえて神様の話を伝えるようにしていき、祈りや教会が身近なものになるよう教師もその精神を忘れないようにしたい。	全園児が神様の存在を大切に思い、その思いの延長として周囲の人に対しても思いやりをもって丁寧に接していると思います。教会関係者の方々や園児・保護者との交流が行事だけでなく、日々の園生活の中でもより多くあれば、子どもたちの成長の糧やヒントを与えていただけるのではと期待している。聖堂も大いに活用してほしい。

③モンテッソーリ教育					意見や提言など	
領域	評価項目	評価の観点	具体的な方策	達成度	成果と課題	意見や提言など
教育活動	望ましい人格形成 を行っていく 体を動かしながら 体験を深める	こどもの動きの中に 意思を入れ人的環境 物的環境を通して こどもの発達を援助する	・お仕事の時間 ・縦割り活動 ・人との関りの中の体験活動 ・教具 ・研修	3.2	子どもたちの発達段階において人的環境はとて大切である。保育に関わる私たちが一番の手本となるようにならなければいけない。あたたかく落ち着いた環境を作ること心掛ける。研修後に十分生かすことができなかったので園内研修も充実させたい。物的環境を整えるという基本的なことが不十分なところがあった。以上児クラスでは子どもたちの興味関心を教具を使っての発展活動につなげるところまでしっかり準備していくようにする。物的環境、人的環境において日々の職員の努力も必要で子どもとともに楽しみながらおしごとに取り組めるよう努力を重ねたい。	モンテッソーリ教育を通して、子どもたちがさまざまな学びに興味関心を持つよう努力されると思う。先生方のモンテッソーリ教育の研修の賜物だと思う。これからも子どもたちが積極的におしごとに取り組んで頂けたらと思う。

④小学校連携・地域との交流 (園外保育・慰問・松原清掃・小学校見学など)					意見や提言など	
領域	評価項目	評価の観点	具体的な方策	達成度	成果と課題	意見や提言など
教育活動	小学校や地域に興味をもち つながりを深め親しみ を持つ	活動の体験を 学びの自立へ 持っていけるよう 促す	生活習慣の徹底、 精神的自立、ができるよう 一人一人年齢に合わせた 関わり方で接する	3.6	今年度からできた芋畑は園から近いめすぐ行くことができ草むしりや水やり等をしながら生長を見ることができた。その姿を地域の方々にもあたたかく見守って頂き地域との交流になった。コロナ禍の中ではあったが、前年度よりは全園児に園外活動が増えて良かった。今後も散歩などの機会を増やしていきたい。また、小学校へ向け基本的な生活習慣の徹底を家庭と協力して行っていった。	唐津カトリック幼稚園の特色である保護者との綿密なコミュニケーションを活かしながら、小学校で子どもたちがより心豊かに成長できるような土台を築いている。また、学校生活でのマナーやルールも、先生方から折に触れ子どもたちによく説明がなされており保護者の不安が解消されるよう配慮がなされている。また、地域との交流にも常に心を砕かれていることにより、地域の皆さまから子どもたちへの温かいまなざしを感じます。地域との交流で園児は地域の方に喜んでもらった喜び、相手は園児の活動と笑顔に生きる力を得ることができ双方人格形成の糧となるので続けてほしい。

4 本年度のまとめ

コロナ禍の中でいろいろと制限されることも多かったが少しずつ緩和されてきたことで活動の幅も広がった。活動の始まりに集まる、座る、待つ、静かに話を聞くことが難しい子どもが目立ち、クラス内が落ち着かず子ども同士のトラブルもあった。職員同士で話し合い、共通理解していきひとりひとりに合った指導をしていくように心掛ける。今年度は不適切保育のニュースもあり自分自身の保育を振り返りいろいろなことを考えさせられた一年でもあった。来年度も見通しを立てて自分たちの心に余裕を持てるような保育を心掛けていきたい。

達成度

A(5) ほぼできた
B(4) 概ねできた
C(3) 少しできた
D(2) 不十分だった

外部関係者より総評

先生方の並々ならぬ努力により、重点目標を確実に達成されており、子どもにも保護者にも地域にも信頼される幼稚園であると思います。先生方の高い志に基づく日々の努力の成果が、すぐに子どもたちの行動、そして笑顔となって現れる過程をいつも拝見し、子どもたちの可能性を信じ、愛情深く教育されると感じられます。縦割りや横割りそれぞれの特性を生かしながら教育されていることが、子どもたちを社会性を養う大きな原動力となっていると考えられます。これからも、子どもたちひとりひとりの素晴らしい才能を開花させる教育を続けて頂きたいと切に願っております。